昭和の森 自然観察会

生き物たちの冬支度

川北紀子（千葉市）

日　時：2022 年 12 月 11 日(日)10 時～12 時、天候：晴れ
参加者：18 名（大人 9 名　子ども 9 名）
担当指導員：小川洋子・川北紀子

お天気にも恵まれ、寒さにも負けずに子供たちは楽しそうに観察会に参加してくれました。まずはケヤキについたヒモミノガの幼虫を観察しました。糸くずのようなものの中に生き物がいることにとても驚いていました。次にシラカシの幹のくぼみにかたまっていたヨコヅナサシガメの幼虫を観察。実際に捕えて口吻の形態もじっくりと見ることができました。そして参加の親子が夢中になって取り組んでくれた落ち葉の下の生き物探し！！
次々と生き物たちを見つけて、楽しさと驚きをじっくりと味わっていました。芝生広場に移動後は、12 月の観察会では好例となっているモグラ塚の調査をしました。モグラ塚の下の穴に用意した竹の棒を差し込み、楽しそうにモグラ塚の実態を観察していました。モグラクイズも好評で、親子でモグラへの理解を深めていってくれたのではないでしょうか。キリの木の観察では、冬芽や蕾、そして今年の実の中に入っている翼のついた種も見ることができました。最後に地面にへばりついているロゼットを観察して、観察会を終了しました。

＊観察した動植物：(動物) セスジアカムカデ、ヒモミノガ、ヨコヅナサシガメ、モリチャバネゴキブリ、ゴミムシの仲間、アキアカネ、ダンゴムシ、ワラジムシ、ミスジマイマイ、ツチイナゴ、ヤマトシジミなど
(植物) キリ、チャノキ、セイヨウタンポポ、オオバコ、ヘビイチゴなど

ヨコヅナサシガメをじっくり観察

落ち葉の下の生き物探し！！

竹の棒を使ってのモグラ塚の調査をみんな夢中になって楽しみました。

モグラクイズも好評で、モグラへの知識を深めたようです。